平成２８年度（２０１６年度）

第１回宝塚市男女共同参画推進審議会議事録

１　日　時　　　平成２８年７月２８日（木）午後６時～７時５０分

２　場　所　　　宝塚市立男女共同参画センター

３　出席者

（１）出席委員　委員10名中9名出席

　　　岸本会長　上杉副会長　後藤委員　髙嶋委員　高田委員

竹内委員　立川委員　　中村委員　宮前委員

（２）事務局

　　　森本部長　公手室長　山添課長　池澤係長

（３）その他

　　　　指定管理者　山田所長

４　全体進行

　・会議の成立について（委員の過半数が出席）

　・傍聴者について（傍聴希望者なし）

５　審議事項

　（１）今年度の男女共同参画推進審議会開催予定について

（２）男女共同参画センター指定管理者評価について

（３）ＤＶ対策の取組状況について

６　主な意見等

|  |
| --- |
| （１）今年度の男女共同参画推進審議会開催予定について |
| 事務局 | ＜資料に基づいて説明・省略＞ |
| （２）男女共同参画センター指定管理者評価について |
| 事務局 | ＜資料に基づき説明・省略＞ |
| 委員 | 図書貸出率は蔵書に対するものであり、蔵書が増えると貸出率は減る。前年度と比べると率は下がっているが、目標とほぼ同じである。若干下がっているという表現がふさわしいのではないか。 |
| 事務局 | 講座で関連図書を紹介するなど工夫していただいているが、蔵書が約１００冊増えているので貸出率は減っている。 |
| 委員 | 図書は年数が経つと貸出が減ってくる。新しい図書を借りる人が多い。今の貸出率ではなく、１人あたり何冊借りているかという視点もある。 |
| 委員 | 図書館では、住民の数を母数にしている。 |
| 委員 | 独自評価で、行政と指定管理者の評価がわかれている箇所がある。利用登録グループ連絡交流会について、行政がＢ評価としているが、指定管理者がＡ評価とした理由を聞かせてほしい。また、平成28年度の指定管理料が昨年度に比べ下がっている。人件費は固定経費なので、指定管理料が下がることで影響があるのは事業費になる。事業費を確保できるようにしてほしい。 |
| 指定管理者 | 利用登録グループ連絡交流会では、タイムリーなテーマを提供し、限られた時間ではあるが、交流できるようしたためＡ評価とした。 |
| 委員 | 質的評価か量的評価かという点で、評価が異なっている。 |
| 事務局 | 質的なものをどのように評価するかは難しい。提供したものはよかったが、なぜ参加者が減っているかという問題がある。連絡交流会の持ち方を、利用登録グループの皆さんがどう思っているのかと思う。数値だけではどうかと思うので、参加者がどう思っているのかという点を考えたい。 |
| 指定管理者 | 利用登録グループ登録時の要件として、連絡交流会に出席することをお願いしている。これまで、連絡交流会でアンケートを行ったことはないが、今後、行いたいと思う。 |
| 委員 | 何を評価するのかという認識あっていない。努力したことを表す方法がないのはつらい。 |
| 事務局 | 評価の仕方に工夫が必要である。 |
| 委員 | 基本協定時に、評価方法について伝えていないのか。数的なものだけではなく、質的なものも評価することが大切である。 |
| 事務局 | 評価の際には、評価する視点を示してお互いに評価している。よりわかりやすい視点にしたいと思う。 |
| 委員 | では、Ｂ評価をＡ評価にするのか。連絡交流会に６回参加しなければならないのかと思う。この連絡会の目的はどこにあるのか。グループ間での関係性よくなったということであれば、Ｂ評価でよいのか。 |
| 事務局 | 審議会での意見を、総括評価とさせていただきたい。また、予算に関して、指定期間５年間は原則変更しない。変動した主な理由として、平成２７年度（２０１５年度）に修繕積立金の支払いが指定管理者から行政に変更となったことや、同じく平成２７年度（２０１５年度）に図書管理システムの更新があったことが挙げられる。 |
| 委員 | 指定管理料の削減はないのか。 |
| 事務局 | 市の予算自体が厳しく、予算全体としてシーリングをかける場合があるので、指定管理料をまったく下げることはないとは言えないが、原則的には、予算の変動はない。 |
| 委員 | 指定管理料を指定期間内確保する努力は必要である。 |
| 委員 | 指定管理者募集時に、費用の縮減計画の提出を求める場合があるが、人件費にしわ寄せがいくなど問題が生じる。そのようなことにならないよう努力をしてほしい。 |
| 事務局 | 現時点でそのような計画を求めることはない。 |
| 委員 | 利用満足度調査にネット予約を希望している意見があるが、実施しているのか。 |
| 指定管理者 | 現在、ネット予約は利用登録グループだけに限られている。 |
| 事務局 | 利用登録グループには、このようなメリットを設定するとともに、連絡交流会の参加をお願いしている。市民との協働にいち早く取り組んだのは、男女共同参画センターである。 |
| 委員 | 設置目的がある施設が、貸会議室になっていないか。利用登録グループは２か月前から予約できるということだが、短くないのか。講演の周知等に問題はないのか。 |
| 指定管理者 | 講演会をする場合は、どなたでも５か月前から予約を受けている。内部の勉強会で短いと感じる方がアンケートで書かれている。２か月前の予約をもっと早くから受けることについて、システム上難しいと思う。 |
| 事務局 | 男女共同参画センター独自にシステムを変更できるのか、負担はどうなるのか検討が必要である。 |
| 委員 | 市民意識調査で男女共同参画センターの認知度が低かった。市として、周知に工夫しているのか。 |
| 事務局 | 市掲示板や広報、冊子への掲載等を行っている。 |
| 指定管理者 | 講座でセンターフェスティバル等のチラシを配布したり、エル・フェスタは子ども向けイベントも多くあるので、各小学校にチラシを配布している。 |
| 委員 | 阪急電車駅構内の掲示版に掲載してもらってはどうか。 |
| 指定管理者 | 参加無料の催しであれば受けてくれている。西宮北口駅、宝塚駅にすでにお願いしている。 |
| 事務局 | 工夫して周知したい。 |
| 委員 | 関心のない人は気づかないだろう。 |
| 委員 | 複合施設であれば、より周知が難しい。 |
| 委員 | 男女共同参画センターで、きめ細やかな相談やいい講座をしていると思った。高齢の方も多く利用している。昼間に家にいる女性も少なくなる中、利用者も多い。地域でもっと知らせたい。 |
| 委員 | 家族全員が男女共同参画に関心をもって話すことは難しいが、だれか１人でも理解・関心を持っていれば、自然に雰囲気づくりができることがある。 |
| 委員 | 子どもたちの方が男女共同参画について浸透している。 |
| 委員 | 男女共同参画センターではない施設で、男女共同参画に関する活動を行うしかけも必要である。公民館で子どもたちとご飯を作る機会に、男女共同参画に関する話をしたところ、理解を示してくれた。 |
| 事務局 | 女性活躍推進法を意識した講座を行っているのか。 |
| 指定管理者 | 働こうとする人、子どもを預けることからスタートする人など、どの人なのかをイメージし、事業を行っている。 |
| 委員 | 高齢の人の参加が多い。７０歳代の方がどのようなものを求めて男女共同参画センターに来ているのか。高齢者向けに企画したものがあるのか。 |
| 指定管理者 | ７０歳代でもお元気で社会的な課題に取り組んでいる方が、講座に参加されている。長年活動を続け、年を重ねた方もいる。昨年度は、エンディングをテーマにした講座も実施した。できることを探してもらえるように今後も取り組みたい。 |
| 委員 | 要介護にならないように、高齢の方にも来やすいような講座をお願いしたい。 |
| （３）ＤＶ対策の取組状況について |
| 事務局 | ＜資料に基づき説明・省略＞※　発言の内容から所管課を特定される可能性があるため省略します。 |
| 委員 | 事務局の方から連絡事項があればお願いします。 |
| 事務局 | 次回の開催予定ですが、８月２９日（月）午後６時から、同センターで開催します。よろしくお願いいたします。 |
| 閉会 |  |